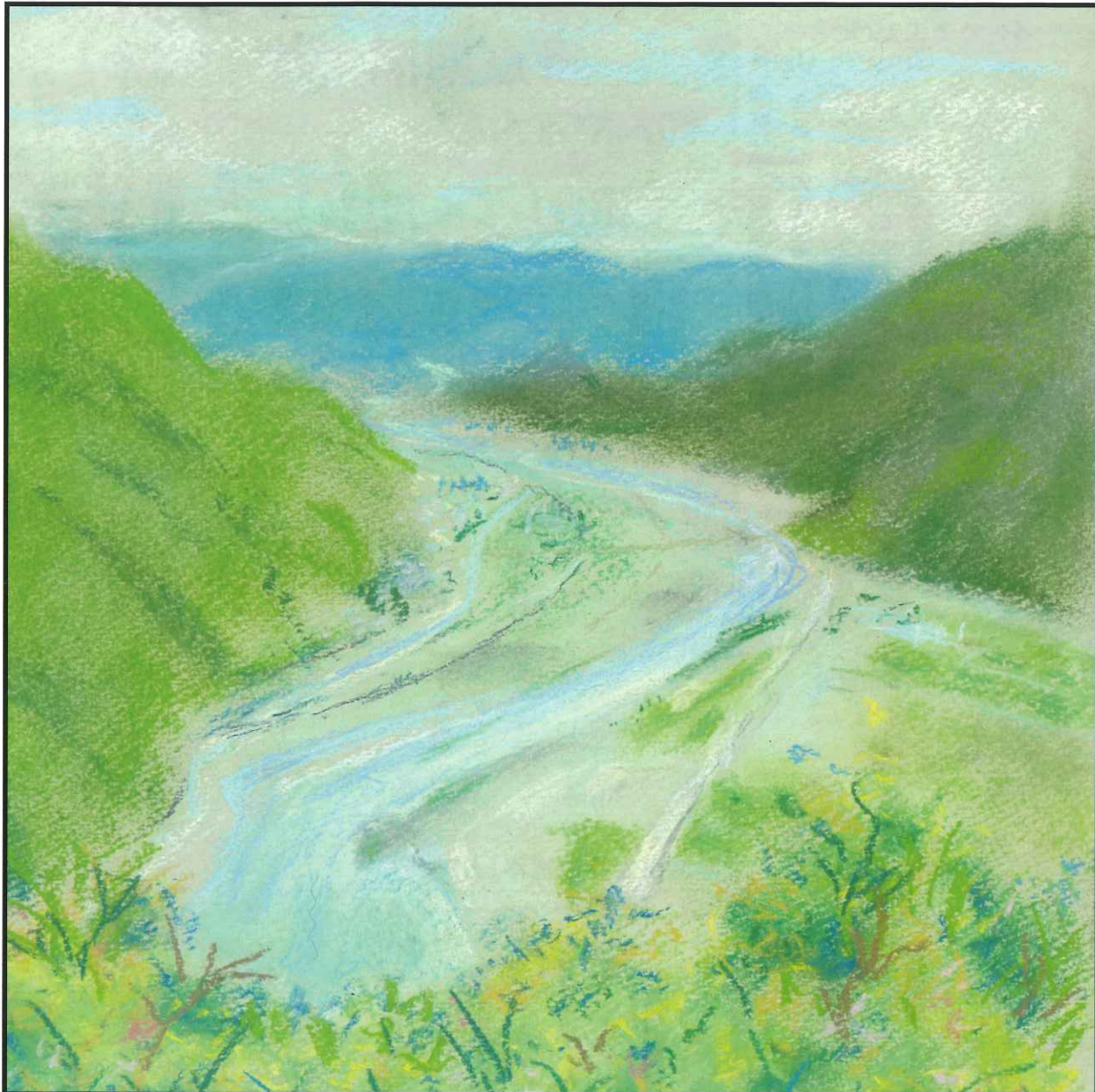


小沢^{さん}

相生・上郡

(公社)相生・上郡広域シルバー人材センター 相生市山手2丁目123番地
TEL 0791-22-4050 FAX 0791-23-3345

ホームページ <http://www.aioikamigori-sjc.or.jp>



パステル画「上郡アルプスハイキングコース」東雲 紅風氏作

安全掲示板



1 高所作業時の安全対策

- ◆ 脚立・三角梯子使用時の足元接地面の安全確認、倒れ止め防止対策の実施
- ◆ 安全保護具の着用および命綱の使用

2 交通事故防止対策

- ◆ 自動車、自転車の安全運転講習会の実施

主な内容

- 総合 P2
 - ・会員拡大推進運動
- 事務局便り P3~P6
 - 特集1. 新型コロナウイルス感染拡大防止対策
 - 2. 持続化給付金 ・各種講習会 ・ボランティア活動
- 会員の広場 P7~P8
 - ・連載手記「ボランティア活動」
 - ・会員の入退会状況



会員拡大推進運動実施

1 会員募集について

会員の拡大は、高齢者の就業機会の拡大、生きがいの創出、地域社会の活性化を目的とするシルバー事業にとつて根幹をなす課題です。

最近、当センターの会員数は、平成21年度718人をピークに毎年度減少し、平成31年（令和元年）度末（令和2年3月31日現在）631人と87人減少しております（下表参照）

令和2年8月31日現在ではさらに17人減の614人となっております。

また事業高においても会員数に比例して減少しており、平成21年度4億3千5百万円が令和元年度3億4千8百万円と8千7百万円の減少となっております。これは、発注者からの就業依頼に会員の減少により応えられないことも原因の一つになっていることも考えられます。

シルバーをより活性化させるためには、会員の拡大が最も重要であります。そのことにより地域や地元企

9月から12月は
会員拡大運動
重点期間です
知人や友人を
紹介してください

業の期待に応えることができることも、多くの元気な高齢者に働き甲斐と生きがいを提供し、シルバーが地域での存在感を発揮することができます。

このため会員拡大運動重点期間の設定を行い集中的に会員拡大のための事業を行っております。会員の皆様、ぜひご協力をお願いいたします。

2 会員拡大推進運動実施状況

(1) 会員拡大運動重点期間の設定

9月から12月を運動の重点期間として集中的に取り組む。

(2) 会員拡大運動実施項目

① パンフレットの配布

年2回相生市民、上郡町民対象に会員募集のパンフレットを配布する。（10月・3月）

② ミニコミ誌への会員募集を掲載（12月）

③ 相生市（毎月）、上郡町（4月）

の広報誌に新入会員

説明会の案内を掲載

(3) 会員の入会説明会に参加をどの様な方法で知ったか

① 市の広報誌

31・9%

② シルバー会員の紹介

31・9%

③ 会員募集のチラシ

9・7%

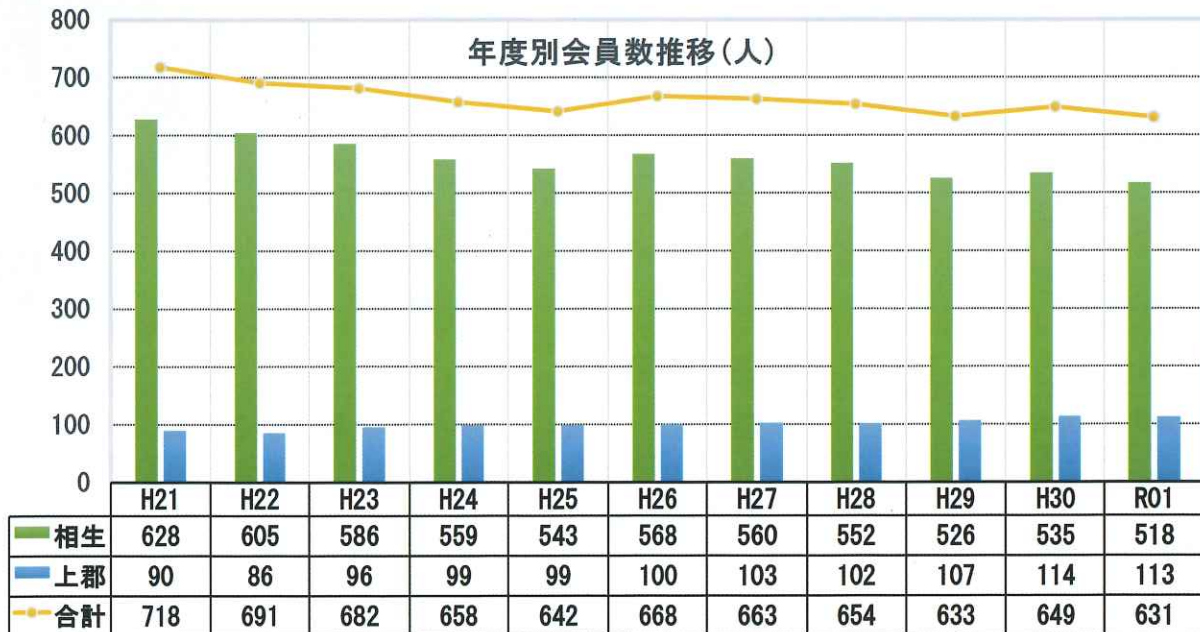
④ 事務所への問合せ等

16・7%

などでした。



年度別会員数推移(人)



事務局便り

《新型コロナウイルス》

《感染拡大防止対策》

『ひょうごスタイル』

新型コロナウイルス感染拡大の収束が見られない中、自らを感染から守るだけでなく、周囲に感染を拡大させないために兵庫県では、独自の新しい生活様式「ひょうごスタイル」の具体的な実践例が示されました。

私たちも「新しい生活様式（ライフスタイル）」を日常的に取り入れましょう。

◆ 感染拡大を予防する 『日常生活』

1、ウイルスとの共存を意識した生活習慣

- (1) 「3密」(密閉・密集・密接)の回避
- (2) 身体的距離(ソーシャルディスタンス)の確保(できるだけ2m、最低1mの間隔)
- (3) マスクの着用、咳エチケットの徹底
- (4) 手洗い、手指消毒(手洗いは、30秒程度、石鹸・消毒薬の利用)



3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう

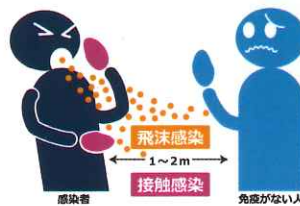


マスクを着用する (口・鼻を覆う) ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う 袖で口・鼻を覆う

2、日常生活の各場面別の行動スタイル

イル

- (1) 買い物
 - ・ 通販・電子決済の利用
 - ・ 展示品への接触は控える
 - ・ レジに並ぶときは、前後にスペースを保つ
 - ・ 計画を立てて、一人または少数で店がすいた時間に素早く済ませる
- (2) 公共交通機関の利用
 - ・ 会話は控えめに
 - ・ 混んでいる時間帯を避ける
 - ・ 徒歩や自転車も併用する
- (3) 食事
 - ・ 持ち帰りや出前、デリバリーも利用する
 - ・ お酌、グラス・お猪口の回し



- (5) 体温測定・健康チェック (熱や風邪の症状があるときは自宅療養)

- (4) 飲みは避ける
 - ・ 対面ではなく、横並びで座る
 - ・ 会話は控えめに
 - ・ 大皿は避け料理は個々に
 - ・ 公園はすいている時間、場所を選ぶ
 - ・ 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
 - ・ ジョギングは少人数で行う
 - ・ 人とすれ違うところでは距離をとる
 - ・ 予約制を利用する
 - ・ 歌や応援は十分な距離の確保
 - ・ かオンライン等を利用する



新型コロナウイルス感染症拡大防止

新しい生活様式へ切り替えを

日常生活 マスクの着用 丁寧な手洗い 毎朝の体温測定 こまめに換気	お買い物 距離を空けて キャッシュレス テリバー テイクアウト
お出かけ 旅行は控えめに 帰省は控えめに	お仕事 時差出勤 ウェブ会議

熱中症を予防しよう!

お互いに声をかけあおう!!

熱中症を予防するポイント

- こまめな水分補給
- 涼しい服装と日傘・帽子の使用
- 扇風機・エアコンの上手な利用
- バランスのよい食事と十分な睡眠
- 冷たいタオル・保冷剤の活用

神戸市保健局

◆ 「新しい生活様式」での熱中症予防

- ・ マスク着用時、付加の作業や運動は避ける
- ・ 屋外で人と十分な距離が取れる場合はマスクを外す
- ・ 換気をしながらこまめにエアコンで温度調節
- ・ 体調に異変を感じたら涼しい場所へ移動
- ・ 日頃から体温測定など健康管理のチェックを行う



- (5) 冠婚葬祭などの親族行事
 - ・ 多人数での会食は避ける
 - ・ 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

《持続化給付金》

会員が、シルバー人材センターで就業し、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い収入(配分金)が減少している会員で次の要件に合う方が対象となります。

1 給付対象者

(1) 2019年以前から、シルバー会員として就業して税務上雑所得または給与所得の収入として扱われるものを主たる収入として、今後も継続して就業の意思のあること。

(2) 2020年1月以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により会員の配分金収入が前年同月比で50%以上減少した月があり、この収入が「主たる収入」であること。

※「主たる収入」＝確定申告様式第1表の「不動産収入」、「利子」、「配当」、「給与」、「公的年金等」よりも「雑その他」の額の方が高額であることが要件です。

(3) 2019年以前から、被雇用者または被扶養者でないこと。

2 給付額

給付額は、100万円を超えない

範囲で、2019年の年間配分金収入から、対象月の配分金等収入に12を乗じて得た額を差し引いたものです。

・算定式は次の通り

(算定式)

$$S = A - B \times 12$$

S = 給付額(上限100万円)

A = 2019年の年間配分金収入

B = 対象月の配分金収入

※対象月＝2020年1月以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2019年の月平均の配分金に比べ、50%以上減少した月をいう。

3 申請期間

令和3年1月15日まで

4 詳細の問い合わせ

会員の配分金が「主たる収入」とみなされるか否かは、個人の状況によることとなります(内容によって持続化給付金コールセンターへ照会が必要)のでシルバー事務所にご相談ください。

※ 持続化給付金コールセンター

Tel. 0120・115・570

受付時間 8時30分～19時00分

(土日を除く)



「会員アンケート」にマ協力を

事務局は入会時に提出していただいた入会申込書を基に、会員情報を登録し就業紹介などに使用させていただきます。

入会してから登録内容が変更になっている会員の方もおられると思いますので、会員状況調査を行います。変更があれば加筆修正願います。

(例) ・携帯電話を所持

・緊急連絡先、希望職種の変更・追加等

また、あわせて会員皆様の就業に対する考え方等の実態を調査して、今後の当センターの事業運営に役立たせることを目的に「会員アンケート」も実施します。

・時期 10月中旬発送
・期限 11月末までに

各事務所に提出



令和2年度安全成績

(令和2年4月1日～8月末)

	安全目標	結果
重篤災害件数	0件	0件
一般災害件数	3件以下	0件
休業日数	120日以下	25日
物損事故件数	5件以下	15件
飛び石事故件数(内数)	0件	7件

いつまでも 働く喜び 無事故から!!

私の作品募集!!

会報の最終ページに掲載しております「私の作品」を募集いたします。

手芸・工芸・陶芸・絵画・写真・盆栽など、どのようなものでも結構です。会員さんが日ごろ趣味で取り組んでおられる作品がございましたら事務所までご連絡ください。

◆ 植木剪定技能講習会 ◆

植木剪定講習会は、当初4月14日・15日に開催予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため6月16日(火)・17日(水)に変更し、開催となりました。



今年も、「高齢者活躍人材確保育成事業」として、シルバー会員の新たな発掘と

剪定技能者の育成・就業機会の拡大を図ることを目的とし、兵庫県シルバー人材センター協会と共催で実施しました。

参加者は17名で、昨年同様「春季」、「秋季」の2回開催いたします。

「春季」講習は2日間実施し、1日目午前中の座学は、相生事務所会議室で行い、参加者は会場への入場時手の消毒と検温を受けました。



カ・さつき・ヒラドツツジ・金木犀、2日目は、松と垣根の剪定指導を受け、参加者は技量の習得に努めていました。

講義は、「剪定作業時の安全心得」と造園業「石樹園」の松本取締役会長をお招きして「美しい庭木を育てるために」を学びました。午後の実技講習は、場所を相生墓園展望台附近に移動して、サザン



◆ 草刈技能講習会 ◆

6月19日(金)、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期になっていた「草刈講習会」をようやく開催することができ、21名の方に参加していただきました。

前半は、草刈作業での事故事例や熱中症対策など「安全」と「作業の基本」について学び再認識されました。

後半は、「マリンパーク野瀬」に移動し、周囲の安全を確認し、座学で学んだことを活かしながら草刈の体験をしました。

また、今年度新規に導入した「自走式草刈機」の取り扱い方を、愛林興業(株)・中村実智留氏から説明していただき、参加者は、興味津々に聞き入っていました。その機械を使

って草刈の体験をし、皆さん「使っている草刈機よりはやいわ」とか「この草刈機のほうが綺麗



に刈れるなあー」などの感想を言い合う様子もありました。

この自走式草刈機を活用し、作業者が安全で、体の負担が少しでも軽減できれば幸いです。

今回の講習会で学んだことを活かして、事故を1件でも減らせることができるように、事務局と協力しながら事故防止に努めていただくことをお願いしたいと思います



『ボランティア活動』

《相生地区》

（学校清掃ボランティア）

今年度の相生市内各小学校の清掃ボランティアは、新型コロナウイルス感染症防止により、市内7校のうち4校（双葉・若狭野・矢野・青葉台）が実施し、3校が中止となりました。

実施した学校では、8月8日から23日の土・日曜の3日間、当センターの会員延べ65名は、教職員、PTA

Aの皆さん（児童は、当日登校日の矢野小のみ参加）と共に、気温が35度近い猛暑の中、汗だくになりながら奮闘していただきました。

シルバー会

員は、事務局が準備した用具や自前の草刈機や剪定鋏、鎌等を持参して校舎周辺や校外にある駐車場など指定された場所での作業です。



草刈りをする人、樹木の剪定をする人

とその枝葉・草など

を集めて集積場や市の収集車に運ぶ人と、今年は一人何役もの役割をこなしながら手際よく作業を行い無事終了しました。

いつもなら、8月31日まで夏休みですが、今年は8月17日から2学期が始まっている中、美しく



なった校庭や駐車場が「すっきり」とした姿を見て、校長先生やPTAの皆さんから「きれいになって気持ちがいいです。ありがとうございます」と

お礼の言葉をいただきました。

参加された会員の皆様、ご苦労でした。



《上郡地区》

（庁舎周辺伐採作業）

8月27日（木）午後、上郡地区の会員13名は、当日午前中の作業終了後上郡町役場第三庁舎周辺でのボランティア活動を行いました。



当初、剪定作業を予定していましたが、生垣の樹木が大きくなり過ぎており、伐採作業に変更し実施しました。

年々、猛暑日が更新される毎日ですが、熱中症予防にも配慮しながら効率よく作業が進み、周辺はきれいになり無事終了しました。参加された会員の皆様、お疲れさまでした。

介護・家事援助のご相談は

シルバーセンターへ

当センターでは、ヘルパーさんが研修会を重ね、「やさしく、ていねい」をモットーに暮らしのお手伝いをしています。

お気軽にお電話ください、お伺いしてご相談に応じます。

ヘルパー事務所（相生） Tel.22-4611
（シルバー人材センター相生事務所 Tel.22-4050）

「表紙のことば」

「上郡アルプス

ハイキングコース」

上郡アルプスハイキングコースは、上郡町の北部に位置し、生駒山、大鳥山、羽山の三山を縦走するコースです。このコースには、赤松円心の三男・則祐が南北朝時代に築いたと伝えられる駒山城跡、大観峰、小美女平もあり上郡の街並みや自然を一望でき、初心者も楽しめます。表紙絵は、大観峰から苔縄方面を眺めたものです。

【東雲 紅風】

会員の広場

『連載手記』

『私のボランティア活動』

〈第三回・花づくり活動に30年〉

大上 節弘

▼コスモスづくり

私が住んでいる周辺の道路沿いや河川の堤防沿い、また、空き地などに草が生い茂って見苦しいので、草刈を始めたのがきっかけで、その場所に何か花でも植えたらと思ったのが30年前でした。



母親が植えていたコスモスの種を引き継ぎ、近くの安室川の堤防沿いに植え次々と場所を増やし、多い時



には、両岸で800メートルくらいまで植えていました。

▼県花・のじぎくづくり

兵庫県で開催された「のじぎく国体」の時、上郡町でも競技があり、それに合わせて「のじぎくづくり」に挑戦しようと思いましたが、



場所は、上郡駅の南プラットホーム沿いの斜面(町所有)へ自分で挿し木した苗1500本、「みどりの協会」より頂いた1500本を一人で植えました。それ以降、県道5号線(姫上線)山野里地区内の歩道沿いに植えられている植木の間には1500本植えて世話をしています。



のじぎくづくりも草取りに追われる時には、他のボランティアグループや、上郡中学校の生徒さんにも「トライやるウィーク」で手伝いを受けたこともありました。

この「のじぎくづくり」ボランティアも昨年で20年となりました。

▼これからも活動を!!

「コスモス、のじぎく」の花咲く時期には、道行く方達が立ち止まり、『綺麗なやな』『心が和むわ』と笑顔で見えてくれることがやりがいとなっております。これからもボランティア活動は続けていきたいと思っております。(おわり)

「お知らせ」

◆ボランティア活動

- ・令和2年12月
- ・中央公園

◆親睦会行事

▽ボーリング大会

- ・令和3年1月
- ・相生スカイレーン

※各行事の実施について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を見ながら日程を決定します。日程が決まり次第お知らせします。

〈就業相談の開催について〉

現在、未就業、または職種の変更を希望される方は、是非ご相談ください。

開催日は、次のとおりです。

開催月	開催日・時間	
	15:00~	13:00~
11月	10日	24日
12月	8日	22日
1月	12日	26日

・場所 所属事務所(相生または上郡)



楓(かえで石付)

山上 秀人さん

真柏(しんぱく)

会員の入退会状況

(令和2年5月1日～令和2年8月31日)

【新入会員】 相生 11名・上郡 3名 合計 14名 (敬称略)

《相生地区》

浅山 彰・片山 善子・河原 伸二・窪田 博幸・黒田 鈴世・萩原 敏樹・羽田野 貴美子
羽田野 宗義・前田 清美・三木 俊樹・武藤 康昌

《上郡地区》

高津 利一・立花 實・藤原 優

【退会会員】 相生 21名・上郡 8名 合計 29名 (敬称略)

《相生地区》

岩下 照美・岡田 洋一・沖本 弘・北川 昭男・北野 喜代子・小林 功彦・高見 ひろ子
田坂 雅男・田村 良雄・中山 満・名代 勉・春井 一志・平松 ひろみ・三島 純弘
本種 敏廣・森 末廣・森永 文代・藪下 正和・藪中 義治・山下 林・山西 英二

《上郡地区》

岡本 司・笹山 久子・竹内 清・長谷川 清己・原田 道男・藤井 哲夫・森 勝宏・吉田 幹夫

【在籍会員数(人)】

相生地区	上郡地区	全 体		会員合計
		男 性	女 性	
508	106	470	144	614

編集後記

前号の本誌で、新型コロナウイルス感染症の早期収束に向けての取り組みなどを掲載しましたが、残念ながら、いまだ収束の兆しが見えず、親睦旅行など実施しづらい行事などは中止となっております。秋号では、その影響を受け、大幅に紙面が空いたことにより、従来から当センター懸案となっている「会員拡大」のPR、また、新型コロナウイルス感染症の防止対策「ひょうごスタイル」の特集を行いました。

また、新年号でもこのような状況が想定されます。今回「私の作品」の募集をさせていただきましたように、会員の皆様の体験談や身の周りの出来事などを紹介させていただきたく考えておりますので、自薦他薦を問わず事務局までご連絡下されば幸いです。宜しく願いいたします。

編集委員会発行(安西・浦川・濱中・松本・森川)